意見書案第2号

意見書案について

別紙、「精神保健医療福祉の改善を求める意見書（案）」を議決されたく会議規則第14条第1項の規定により提出します。

令和3年3月25日提出

加西市議会議長 土本 昌幸 様

提出者	加西市議会議員	深田 照明
賛成者	〃	佐伯 欣子
賛成者	〃	中右 憲利
賛成者	〃	森田 博美

精神保健医療福祉の改善を求める意見書（案）

厚生労働省が2020年4月に実施した全国調査では、2015～2019年度の5年間に精神科病院で看護師等による虐待が疑われる事例は、全国で72件あるとの結果が出た。これは、もはや個々の問題ではなく、国内の精神科病院全ての問題である。

全ての人の人権が尊重され、誰もが、地域社会の中でその一員として安心して暮らし続けられるよう、患者・利用者本位の精神保健医療福祉の改革が必要である。

よって、国におかれては、下記の事項に取り組まれるよう要望する。

記

- 1 精神科病院の実態調査とその対策を協議するため、家族や当事者も含めた第三者人権機関設置を検討すること。
- 2 障害者虐待防止法の通報義務を病院にも追加すること。
- 3 精神医療審査会に精神障害者の家族や当事者を委員として加えるよう制度改正をすること。
- 4 精神科医療機関が早期回復・社会復帰に向けた良質な医療を提供できるよう、急性期の精神障害者のみを対象とするのではなく、全ての精神障害者に対して、精神科専門職の配置人員基準を引き上げること。
- 5 治療方針の意思決定支援の充実、インフォームドコンセントの徹底、さらには、SDM（共同意思決定）を取り入れること。
- 6 家族や理解者と入院中の本人との面会を保障することを徹底し、コロナ禍においても十分な面会ができるよう病院の感染症対策を支援すること。
- 7 入院中心の政策から、地域で生活することを中心とした政策へ転換を進める移行期において、精神科病院に対する財政支援や、精神科病院の労働者が心にゆとりをもって働くことができるよう、人員増員等による労働環境の整備充実、教育・研修等の措置を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年3月25日

兵庫県加西市議会